

探究・総合によせて

研究推進部副部長 土元 優一

探究や総合で大切にしたいことは、単に、起こっていることを観察したり、疑問に思ったことを調べたりして終わるものではなく、伝える内容や解決しなければならないことに対し、**解決の必要性を感じとり、自ら課題を見出し、問いを立て、さまざまな手法を用いて取り組んでいく**ことです。

情報機器の普及により、知りたい情報はすぐに手に入れることができる時代となっています。しかし、手に入れた情報をどのように精査し、正しく活用していくかについてはまだまだ学ばなければならないと感じます。発表の段階では、他人の意見を盗用していたり、まとめただけ、もしくは自分の意見と混在させたりしているなど多くみられます。授業では、メモの取り方や聴き方、調べ方やまとめ方、伝え方など、今まで何となくやってきていたことを学ぶ機会も多くあります。この授業をきっかけに、知識を学ぶだけでなく、積極的にかつ知的に行動できるようになってください。

今週の「総合」「探究」より…

4月20日（金）第1学年総合 第2回

第1学年は前日まで八子高原でオリエンテーション合宿に行っていました。近年まれにみる好天に恵まれ、屋外の活動は晴天の下でこなし、室内でも井上千早彦校長先生の講話、国・数・英の3教科の講座が開かれました。

今回の総合の時間では、「効果的なメモの使い方」「聞いた話を人に伝える」ということを狙いに、合宿中にメモした内容について、班で共有してまとめていく作業をしました。各班で「これってどういう意味?」「それ言っていた?」「他にどんなこと言っていた?」と活発に話し合う姿が見られました。校長先生の話からは、キーワードとして「薫習(くんじゅう)」「ヒモ」「杼(ひ) 箴(おさ)」とまとめた組が多かったです。詳細はお子様に尋ねてみてください。今回は、合宿のしおりにメモのページが用意してありましたが、**普段から気になったことなどをメモする習慣**をつけたいですね。…さて、さっそく6時間目にあった情報セキュリティ講演会でもメモをとれたでしょうか。(1年生の担任団より「持って行っている子もいれば、持って行っていない子も…。『メモは必要ですか』と尋ねる子もいました」とのこと。…残念。)



第1学年総合



第2学年総合

4月23日（月）第2学年総合 第2回

「台湾修学旅行」シリーズ、第2回からは3回にわたり「台湾入門」(酒井亨著 日中出版)を読んで、まとめ、人に伝えるという活動をします。台湾の地理・歴史・人々・言語・産業・日本との関係などの章を、何人かで手分けして読み、班で持ち寄って情報を共有します。そこから台湾の全体像をまとめてクラスで発表する予定です。

今回は与えられた章を読みながら、傍線を引いたり、ワークシートに書き出したりしながら、16~20ページほどの文章を自分の言葉で班員に伝えられるようにまとめました。典型的な歴史・地理の授業では、先生の話聞いて板書を写して…という講義形式が主流かもしれませんが、柏原高校ではいくつかの授業で「ジグソー学習」のようなグループで話し合う手法をとっています。

次回は班ごとでまとめた「台湾像」をクラス内で発表し、他の班の視点を共有する予定です。

4月23日（月）第3学年総合 第2回

前回に引き続き、各クラスで小論文講座が開かれました。クラスごとに前回の振り返りをしたり、今後取り組む各分野別の出題に向けて準備したり、それぞれが与えられた課題を前に取り組んでいました。進路希望先ごとに異なるテーマで論文に取り組み、力試しに模擬試験を受験する予定です。



4月24日（火）第1学年総合・探究 特別講演会

創立記念日（121周年）を前に、前校長の大西伸弘先生から「柏原高校 120年の歴史」というテーマで講演していただきました。江戸時代、柏原藩は崇徳館を創設、小島省齋ら優れた教育者に恵まれ、教育熱心な地域となったこと、第二代校長・大江磯吉先生、「旅愁」を作詞した偉大な音楽家・犬童球溪先生、第47代内閣総理大臣・芦田均氏など、偉大な人物を輩出してきたことなど、色々な視点から本校の歴史が語られました。かつてはセンバツ大会に出場した野球部、全国大会に進出した女学校時代の籠球部（バスケットボール）、黄金期を誇った剣道部、陸上部から引き継がれる「文武両道」の精神を大切に、高校生活を満喫してほしいという願いでお話を結んでいただきました。「柏高検定」が実施されるとあって、皆、熱心にメモを取っていました。



4月24日（火）第2学年探究 第2回

「地域社会」「国際関係」「自然科学・環境」「経済・ビジネス」「農業・食糧」という研究課題について希望調査を行い、それを元に、担当者8人で面接を行いました。「地域社会」「経済・ビジネス」「農業・食糧」では、分野的に重なりますが、『地域おこし・篠山層群』『丹波の住環境』『教育問題』『地域活性化・空家の利活用』『丹波市の魅力』という分野に分かれて活動します。「国際関係」では『貧困・教育』を取扱い、英語でのプレゼンテーションを目標に進めることになりました。「自然科学」では、『生物』『機械化』など各自の関心に基づいて研究を進めることになりそうです。

今後は、それぞれの研究課題に関する情報収集にあたり、「キーワード・マッピング」という手法などを使って、テーマ設定を助めていきます。



<付録>

4月23日より「英語でしゃべランチ」を開始しました。気軽に英語で話せるようになることを目標に、昼休みの30分間、昼食を食べながら英会話を楽しんでいます。ALTのKaraさんはもちろん、英語科・社会科の教員も参加しています！市内に住むネイティブの方々にも協力していただきます。（写真は丹波市在住のアメリカ人・マイクさん）